

2024年7月3日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者 ・氏名（グループの場合は代表者）：
・年齢：
・コールサイン（局免許保有者の場合）：
・連絡先住所：
・メール：

2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）

A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア

3. アイデア名：サブスク型の会員制アマチュア無線サイトの構築

4. アイデアの概要（200字以内）：

電波を出せばインターフェアのリスクは必ず付き纏います。これを可能な限り排除できないか、という提案です。個人で対策対応するには「荷が重い」。

昨今の住宅事情により、大きなアンテナが上げられない。それを工夫するのにもまた楽しみの1つかも知れませんが、多くの場合、その境地にたどり着くまでに「飽きます」。

5. 詳細説明（図表を含めて4頁以内）：

私は高校生の頃にアマチュア無線局を開局し、高校在学中は交信を楽しんで居りましたが、テレビにインターフェアが出たため閉局しました（30年後に再開局を果たしました）。あまり自宅から電波を出したくないのが正直なところです。簡単な室内アンテナでこっそり遊んでいます。

インターフェア対策がしっかり施された設備が近所があれば、そこまで遊びに行き運用を楽しむことはできるのでは無いかと思います。昨今、小規模なスポーツジムが流行っていますが、それと同じ感覚です。

ジムの機械は個人ではなかなか買えませんし、自分専用のプールを持つのは無理です。なので、これらの施設を利用します。インストラクターが（日中であれば）常駐していれば分らないことは訊くことができますし、手軽に運用できます。これを、アマチュアがボランティアで行うのではなく、スポーツジムと同様に正式な「事業」として行う。

小規模なスポーツジムは月5000円で24時間通い放題な施設が多いようです。工夫すれば同様なことが可能なのでは無いかと思います。

・負のサイクル

1. 開局する→テレビに電波障害が出る→怒られる（気持ち悪がられる）→閉局
2. 住宅環境が手狭なため大きなアンテナが上げられない→電波が飛ばない→呼び負けする・取ってもらえない→飽きる→閉局

割と、個人で無線設備を持つのが「無理」なのです。

・ 想定する施設



写真はインターネットから取得した「トヨムラ太田店」様の外観写真です。建物はここまで大きくなくても、よく管理されたタワーと八木アンテナがあれば理想的と思います。

・ 想定する運営方法

会員制として、利用者は無線従事者免許だけ持って行けば運用できるようにする（社団局を設置）。設備1件あたりタワーと簡単なプレハブ小屋を設置して、各都道府県等にマメに配置する。

利用者はどこの施設に行っても自由に運用できるようにする（ローカルルールを可能な限り設けない。全国同じマニュアルで運用する）。

インターネットからリモート運用できても良いかも知れないです（免許に「工夫」が必要ですが）。その場合、建物は物置程度で済みますし、場所も選びません（郊外でOK）。

インターフェア対策がしっかり取られた、よく飛ぶアンテナ設備があることが重要です。

あと、若い人は常連客が屯する個人店の居酒屋よりファミリーレストランのようなライトな接客を好みます。各地域のクラブ局で同様なことは行われているのだろうとは想像しますが、常連客が屯する個人店の居酒屋は敷居が高い。全国同じマニュアルでボランティアでなくプロが事業として運営するのはそのためです。若い人は割とそういうライトな関係を好むように思います。宜しくご検討願います。

以上